

環 境 経 営 レ ポ ー ト

第66期

(活動期間 2023年5月～2024年4月)



本社事務所

作成日 2024年 5月22日

株式会社 シ ン セ イ

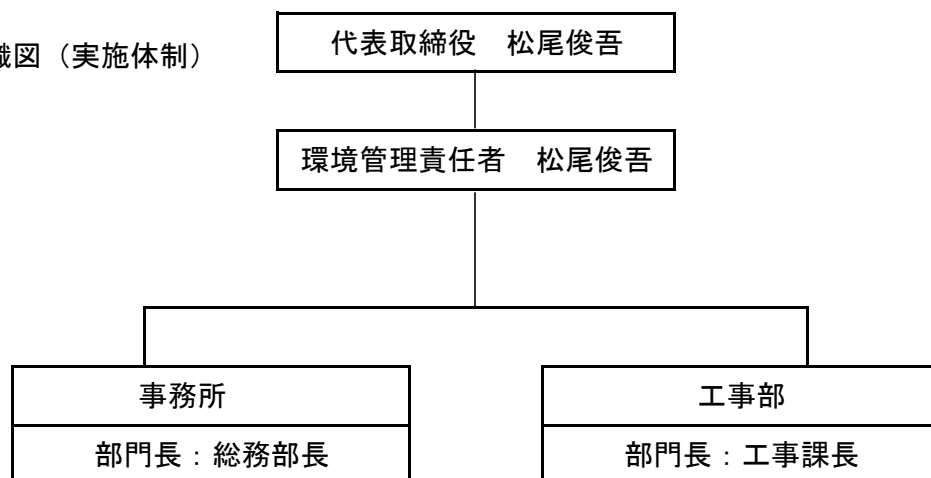
目 次

1.	事業の概要	… 1
2.	環境方針	… 2
3.	環境目標	… 3～4
4.	環境経営計画	… 5
5.	環境目標の実績及び取組結果の評価、 次年度の取組内容	… 6
6.	環境関連法令等への違反、訴訟等の有無	… 8
7.	代表者による全体評価と見直し結果	… 8

1. 事業の概要

- 1) 事業所名及び代表者名 株式会社 シンセイ 代表取締役 松尾 俊吾
- 2) 所在地 住所 : 佐賀県伊万里市松浦町山形6211-1
TEL : 0955-26-2956 FAX : 0955-26-3186
e-mail : shinsei@ihn.jp
- 3) 環境管理責任者の連絡先 責任者 : 松尾 俊吾 連絡先 : 同上
- 4) 事業の概要 建設業の許可 佐賀県知事(般-1)第2206号
管工事、水道施設工事、土木工事、消防施設工事
- 5) 事業規模 2022年度(第65期)実績
売上高 154,312,829円
従業員数 7人
資本金 20,000,000円
- 6) 認証登録範囲 ①組織 全組織 (本社)
②活動 全活動 (管工事業、水道施設工事業、
土木工事業、消防施設工事業)

6) 会社組織図(実施体制)



2. 環 境 経 営 方 針

株式会社シンセイは社是「信頼と技術で築こう顧客の満足」

「努力と和で築こう会社の繁栄社員の幸福」

「誠意と情熱で築こう未来社会の建設」

のもとに、自然環境の保全に努め社員一人一人が事業活動のなかで
より良い地域環境づくりを目指して今後とも積極的に取り組みます。

- 1、環境に配慮した施工を行います。
- 2、社内全体で電力、ガソリン等の削減、節約に取り組みます。
- 3、廃棄物の分別、及びリサイクル活動に取り組みます。
- 4、グリーン製品の購入を推進します。
- 5、社内全体で整理・整頓・美化に努めます。
- 6、環境に関する法規（又は法令）等及び地域協定等の遵守に努めます。
- 7、地域貢献活動を実施します。
- 8、社内での環境方針は全社員に周知徹底し実行に努めます。

制定日 2010 年 2 月 1 日

改定日 2019 年 5 月 1 日

株式会社 シンセイ
代表取締役 松尾俊吾

3. 環境経営目標

①二酸化炭素排出量の削減(事務所+現場) (ガソリン使用量、軽油使用量には現場での使用量を含む)

取組項目(単位)		区 分	第65期 2022.05.01 ～ 2023.04.30 基準年	第66期 2023.05.01 ～ 2024.04.30 基準年比	第67期 2024.05.01 ～ 2025.04.30 第64期比	第68期 2025.05.01 ～ 2026.04.30 第65期比	第69期 2026.05.01 ～ 2027.04.30 第66期比
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	全社	39,660.28	38,470.47 (3%削減)	37,316.36 (3%削減)	36,196.87 (3%削減)	35,110.96 (3%削減)
電力使用量	kwh	事務所	9,094.69	8,821.85 (3%削減)	8,645.41 (2%削減)	8,472.50 (2%削減)	8,303.05 (2%削減)
ガソリン使用量	L	事務所	10,393.53	10,081.72 (3%削減)	9,980.91 (1%削減)	9,881.10 (1%削減)	9,782.29 (1%削減)
軽油使用量	L	全社	3,862.62	3,823.99 (1%削減)	3,785.75 (1%削減)	3,747.90 (1%削減)	3,710.42 (1%削減)

*CO₂排出量の電気使用量の排出係数は
2018年度九州電力二酸化炭素調整後排出係数0.347kg-CO₂/kwhを使用した。

②廃棄物リサイクル率の管理

取組項目(単位)			第65期 2022.05.01 ～ 2023.04.30	第66期 2023.05.01 ～ 2024.04.30	第67期 2024.05.01 ～ 2025.04.30	第68期 2025.05.01 ～ 2026.04.30	第69期 2026.05.01 ～ 2027.04.30
産業廃棄物	リサイクル率		100	100	100	100	100

一般廃棄物	リサイクル率		100	100	100	100	100
-------	--------	--	-----	-----	-----	-----	-----

③水使用量の削減 (事務所+現場)

取組項目(単位)			第65期 2022.05.01 ～ 2023.04.30	第66期 2023.05.01 ～ 2024.04.30	第67期 2024.05.01 ～ 2025.04.30	第68期 2025.05.01 ～ 2026.04.30	第69期 2026.05.01 ～ 2027.04.30
水	m ³		30.895	30.277 (2%削減)	29.672 (2%削減)	29.078 (2%削減)	28.497 (2%削減)

④環境に配慮した施工

取組項目(単位)			第65期 2022.05.01 ～ 2023.04.30	第66期 2023.05.01 ～ 2024.04.30	第67期 2024.05.01 ～ 2025.04.30	第68期 2025.05.01 ～ 2026.04.30	第69期 2026.05.01 ～ 2027.04.30
創意工夫	件		3	3	3	3	3

⑤地域貢献活動

取組項目(単位)			第65期 2022.05.01 ～ 2023.04.30	第66期 2023.05.01 ～ 2024.04.30	第67期 2024.05.01 ～ 2025.04.30	第68期 2025.05.01 ～ 2026.04.30	第69期 2026.05.01 ～ 2027.04.30
年1回以上	回		1回	1回	1回	1回	1回

4. 環境経営計画

(1) 二酸化炭素排出量削減のための取組目標と取組方法

1) 電気使用量の削減

- ①昼休み、外出時にこまめに消灯する。
- ②長時間使用しないパソコン、プリンターの電源を切る。
- ③冷暖房の温度は適温に設定する。(夏は $28^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$ 、冬は $20^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$)
- ④照明器具、事務機器の購入時はエネルギー効率の良いものを購入する。
- ⑤節電シールの貼付け。

2) ガソリン、軽油の削減

- ①エコドライブの徹底。(急発進、急加速、急停車の禁止やアイドリングストップ)
- ②過積載防止。 ③定期的に車両、重機等の点検整備をする。
- ④効率的な運転の推進

(2) 廃棄物排出量の削減のための取組目標と取組方法

1) 廃棄物排出量の削減

- ①事務所内書類に関しては、両面コピー及びコピー裏紙を使用する。
- ②分別を徹底し、再利用する。
- ③新聞などは資源ごみとして出し、再資源化率を向上する。

(3) 水資源使用量の削減のための取組目標と取組方法

1) 水資源使用量の削減(2%削減)

- ①こまめに蛇口を閉める。 ②流しっぱなしにしない
- ③節水の意識を徹底する。 ④節水シールの貼付け。

(4) 環境に配慮した施工

1) 創意工夫

- ①コンクリートの養生に関する工夫
- ②安全施設に関する工夫(軽量単管の使用等)
- ③仮設に関する工夫(バリケード等)

(5) 地域貢献活動

- ①現場周辺の清掃・除草

5. 環境経営目標の実績及び取組結果の評価、次年度の取組内容

5-1 環境目標の実績及び取組結果の評価

目標と実績の比較をしました。

① 二酸化炭素排出量の削減（事務所+現場）

取組項目(単位)		区分	目標	実績	達成率	判定
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	全社	38,470.47	22,687.53	170%	○
電力使用量	kwh	事務所	8,912.80	8,006.00	111%	○
ガソリン使用量	L	事務所	10,289.59	5,877.12	175%	○
軽油使用量	L	全社	3,824.00	2,431.99	157%	○

*CO₂排出量の電気使用量の排出係数は

2018年度九州電力二酸化炭素調整後排出係数0.347kg-CO₂/kwhを使用した。

《評価》

全ての項目において、目標を大きく削減できている。

ガソリン等の使用量は、現場の距離に関係してくるが、常にエコドライブを心がけ、引き続き削減に取り組みたい。

《備考》 達成率 削減目標＝目標÷実績×100% 増加目標＝実績÷目標×100%

② 廃棄物リサイクル率の管理

取組項目(単位)			目標	実績	達成率	判定
産業廃棄物	リサイクル率		100	99.8	99.5%	×
一般廃棄物	リサイクル率		100	92.7	92.7%	×

《評価》

産業廃棄物については一部未達であるが、一般廃棄物については目標を達成できている。引き続き、100%を維持できるよう取り組む。

③ 水使用量の削減（事務所+現場）

取組項目(単位)			目標	実績	達成率	判定
水	m ³		30.28	21.0	144%	○

《評価》

事務所で業務を行うことが少なかったため、水の使用量が少なかったと考えられる。

④ 環境に配慮した施工

取組項目(単位)			目標	実績	達成率	判定
創意工夫	件		3	3	100%	○

⑤ 地域貢献活動

取組項目(単位)			目標	実績	達成率	判定
各現場1回以上	回		1	1	100%	○

ただし、判定の○は目標達成 ×は目標未達成

5-2 次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素排出量削減のための取組目標と取組方法

1) 電気使用量の削減

- ①昼休み、外出時にこまめに消灯する。
- ②長時間使用しないパソコン、プリンターの電源を切る。
- ③冷暖房の温度は適温に設定する。(夏は $28^{\circ}\text{C}\pm 2^{\circ}\text{C}$ 、冬は $20^{\circ}\text{C}\pm 2^{\circ}\text{C}$)
- ④照明器具、事務機器の購入時はエネルギー効率の良いものを購入する。
- ⑤節電シールの貼付け。

2) ガソリン、軽油の削減

- ①エコドライブの徹底。(急発進、急加速、急停車の禁止やアイドリングストップ)
- ②過積載防止。③定期的に車両、重機等の点検整備をする。
- ④効率的な運転の推進

(2) 廃棄物排出量の削減のための取組目標と取組方法

1) 廃棄物排出量の削減

- ①事務所内書類に関しては、両面コピー及びコピー裏紙を使用する。
- ②分別を徹底し、再利用する。
- ③新聞などは資源ごみとして出し、再資源化率を向上する。

(3) 水資源使用量の削減のための取組目標と取組方法

1) 水資源使用量の削減(2%削減)

- ①こまめに蛇口を閉める。②流しっぱなしにしない
- ③節水の意識を徹底する ④節水シールの貼付け。

(4) 環境に配慮した施工

1) 創意工夫

- ①コンクリートの養生に関する工夫
- ②安全施設に関する工夫(軽量単管の使用等)
- ③仮設に関する工夫(バリケード等)

(5) 地域貢献活動

- ①現場周辺の清掃・除草

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に適用となる主な環境関連規制

名 称	遵守事項	遵守状況
フロン排出抑制法	第一種特定製品の管理者判断基準の順守	遵法
下水道法	施設の届出	遵法
建設リサイクル法	リサイクル法の届出	遵法
浄化槽法	浄化槽管理者の義務、定期検査	遵法

(2) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

環境関連法規等の遵守状況は、環境管理責任者が確認し、評価している。

朝礼や全体会議を利用し、環境関連法規等の遵守を徹底している。

(3) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の違反はない。また、訴訟等もない。

7. 代表者による評価と見直し

1) 評価

- ①社員の環境意識は向上した。
- ②事故なく、手もどりにく、苦情もなかった。
- ③環境ボランティア、清掃ボランティアを実施した。
- ④法違反はなかった。

2) 見直し

- ①今後とも継続して環境意識の向上を行う。
- ②今後とも事故ゼロ、手もどりゼロ、苦情ゼロを目指す。
- ③継続してボランティア活動を実施する。
- ④実施体制の変更はない。

株式会社 シンセイ
代表取締役 松尾 俊吾